

大気環境学会 中部支部オンライン講演会

大気環境モニタリングはなぜ必要か

—科学的知見の重要性—

2024年12月26日（木）13:00～15:30

オンライン参加登録（ご登録後、Zoomリンクが案内されます）:

<https://forms.gle/pXoqFT7rdtUH6nbF7>

申し込み期限 12月19日

大気汚染常時監視局や越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング地点など、大気環境モニタリング全体の見直しを迫られているなかで、今一度、科学的基盤として、またそれに基づく環境政策に与える影響も含めて、モニタリングの必要性や有用性について議論する。

演 題

- (1) 常時監視測定局の利活用（大気環境総合センター 若松 伸司）
（発表 30分、質問 10分）
- (2) WHO 2021年大気質ガイドラインと健康影響の最新知見（北海道大学 上田 佳代）
（発表 30分、質問 10分）
- (3) 大気成分の寿命と排出源：観測の必要性和場所の重要性（名古屋大学 長田 和雄）
（発表 15分、質問 5分）
- (4) 大気環境政策のEBPM（アジア大気汚染研究センター 山下 研）
（発表 15分、質問 5分）

主催：大気環境学会中部支部

世話人：山神真紀子 長田和雄 佐瀬裕之

本件連絡先：名古屋市環境科学調査センター・山神真紀子

(yamagami_m@nifty.com)